

町議会から
Kanieのあなたにお届け

かにえの

議会



3月定例会・5月臨時会特集号

- 皆さまの代表14人が決まる

当選議員の決意と抱負… ②

- 5月臨時会

議会人事新体制がスタート… ③

- 3月定例会

「蟹江町希望の丘広場」… ⑥
4月からオープン

- 町長施政方針に対し

会派代表議員4人代表質問… ⑧

今号の表紙

地域における消防・防災活動の担い手である消防団の皆さまです。お仕事をお持ちにもかかわらず、地域のために活躍される姿には感銘を受けます。

議員14人を紹介

皆さまの代表として 精一杯がんばります！



去る4月26日の選挙で当選された議員14人が、4年間の決意と抱負を述べました。

議席番号 ふりがな氏名(年齢) ①期数 ②所属党派 ③住所 ④抱負

1 まつもと まさみ
松本正美(67)

①5期 ②公明党
③平安二丁目32番地
④安心・安全をモットーに、すべての人が希望のもてる人生設計を描けるよう、地方創生の担い手として、町政の発展に取り組んでまいります。

2 いたくらひろゆき
板倉浩幸(50)

①1期 ②日本共産党
③平安二丁目88番地
④福祉・医療・教育・子育て・魅力ある町づくり・みなさまの切実な願いの実現をめざします。住民につくすことを信条にがんばります。

3 いしはらゆうすけ
石原裕介(45)

①1期 ②新風 しんぷう
③須成字市場1345番地
④私は、町内保育所全ての延長保育実現や学童保育の小学生全学年対応、安全に通える通学路の確保など、子育てサポートに取り組めます。

4 みずの としみ
水野智見(57)

①2期 ②新風 しんぷう
③舟入一丁目455番地
④私は、町民の皆さんの声を町政に確実に届け、住み続けたい街づくりを皆さんと共に取り組みますので、ご支援宜しくお願いします。

5 とや ゆうじ
戸谷裕治(62)

①2期 ②無党派
③城四丁目381番地
④私は、町の玄関、近鉄駅前ロータリーと周辺整備に全力で取り組みます。ボランティア団体の支援対策にもがんばります。応援お願いします。

6 いたとうしゅんいち
伊藤俊一(70)

①6期 ②無党派
③須成字門屋敷下1352番地
④私は、特に東郊線JR踏切の早期拡幅とJR蟹江駅北から南への自由通路を兼ねた橋上駅の早期建設と今須成線の早期開通に全力投球致します。

7 いいだ まさひろ
飯田雅広(39)

①1期 ②未来フォーラム みらい
③須成字門屋敷上1382番地 1
④活力に溢れ、全ての世代が安心して暮らせる蟹江町の実現に向けて、皆さんのお声をお聞きしながら、若さを生かして精一杯活動していきます。

8 くろかわかつよし
黒川勝好(57)

①6期 ②未来フォーラム みらい
③蟹江新田字前波20番地
④私は、蟹江町にある3つの駅、近鉄蟹江駅・富吉駅、そしてJR蟹江駅周辺整備を積極的に取り組み、魅力、活力ある蟹江町を目指します。



9 なかむら えいこ
中村英子(69)

① 8期 ② 未来フォーラム
③ 富吉四丁目93番地
富吉グリーンハイツ3号棟109号
④ 政令指定都市の名古屋市との合併を目指し、行政サービスの向上に繋がりたい。高齢者、女性、子供達の環境に常に配慮し、必要な政策を作ります。



10 さとう しげる
佐藤 茂(64)

① 2期 ② 新政会
③ 蟹江新田字六反割193番地
④ 2期目になり、気を引き締めて頑張る所存です。特に、富吉南地区の市街化に向け、そして農業問題に力を注いでいきたいと思ひます。



11 おくだ のぶひろ
奥田信宏(69)

① 8期 ② 新政会
③ 鍋蓋新田字イロノ割44番地7
④ 少子高齢化対策の拡大充実、民間の力も借り必要な施設等の促進。災害も減災の為、準備し、この町に住んで良かったといわれる様に努力します。



12 よしだ まさあき
吉田正昭(63)

① 4期 ② 新政会
③ 舟入四丁目8番地
④ 私は、教育環境の整備の充実、子育て支援を強く進め、近鉄蟹江駅周辺の整備開発に取り組み、住みやすいまちづくりを目指します。



13 あんどう よういち
安藤洋一(59)

① 2期 ② 新風
③ 八幡二丁目3番地4
④ 「安心・安全そして快適な町へ」をモットーに防災対策、地域の発展と活性化など皆様の声をしっかり聞き町政に反映させるべく努力します。



14 こうさか やすひこ
高阪康彦(67)

① 4期 ② 新風
③ 城二丁目201番地
④ 調整区域を市街化し、人口増を図り、若い世代が定住出来る蟹江町にするため、子育て支援の拡充、小中学校の教育水準の向上を図ります。

5月 臨時会 **議会人事新体制がスタート** 選挙後、初めての議会となる臨時会が5月13日に行われ、議長、副議長、委員長、委員などが決まりました。



議長 高阪康彦

総務民生常任委員会

総務部、民生部、教育委員会の所管に関する事項、他の常任委員会に属さない事項で、付託された案件などを審査・調査します。

委員長 板倉浩幸 水野智見
松本正美
副委員長 飯田雅広 中村英子
安藤洋一 奥田信宏

防災建設常任委員会

産業建設部、上下水道部、消防本部の所管に関する事項で、付託された案件などを審査・調査します。

委員長 石原裕介 伊藤俊一
戸谷裕治
副委員長 黒川勝好 佐藤 茂
吉田正昭 高阪康彦

議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関する事を協議します。

委員長 松本正美 板倉浩幸
黒川勝好
副委員長 水野智見 伊藤俊一
安藤洋一 奥田信宏

会派の構成
※○は代表者

新風 4人
○高阪康彦 安藤洋一
水野智見 石原裕介

新政会 3人
○奥田信宏 吉田正昭
佐藤 茂

未来フォーラム 3人
○黒川勝好 中村英子
飯田雅広

公明党 1人
松本正美

日本共産党 1人
板倉浩幸

会派に属さない議員
戸谷裕治
伊藤俊一



副議長 佐藤 茂

議会広報編集委員会

議会だよりの発行、ホームページの掲載に関する事を協議します。

委員長 松本正美 石原裕介
水野智見
副委員長 戸谷裕治 飯田雅広
板倉浩幸 佐藤 茂

一部事務組合議会議員

海部地区急病診療所組合
松本正美

海部南部広域事務組合
板倉浩幸 安藤洋一

海部地区環境事務組合
奥田信宏

海部地区水防事務組合
戸谷裕治

監査委員
(議会選出)
伊藤俊一



特集

3月定例会の主な内容

27年度予算 一般会計総額94億6648万9千円を可決

蟹江町希望の丘広場 4月から供用開始

定例会の あらまし



27年3月定例会は、3月3日から19日までの会期で開きました。

▼3日(開会)

提案説明に先立ち、町長が施政方針演説を行いました。

条例改正案、補正予算案など、合わせて30件が提案説明され、そのうち、人事案件を可決しました。

▼6日(常任委員会)

総務民生・防災建設常任委員会が開かれ、本会議から付託された議案13件の審査をしました。

▼12日(代表質問)

町長の施政方針に対し、各会派を代表する議員4人が、代表質問を行いました。

▼16日(予算審議)

27年度予算案(一般会計・特別会計・水道事業会計)に対し、活発な質疑が交わされました。

▼19日(閉会)

条例制定案、意見書案など5件が追加提案され、質疑・討論を行った後、すべての議案を可決し閉会しました。

予算総額

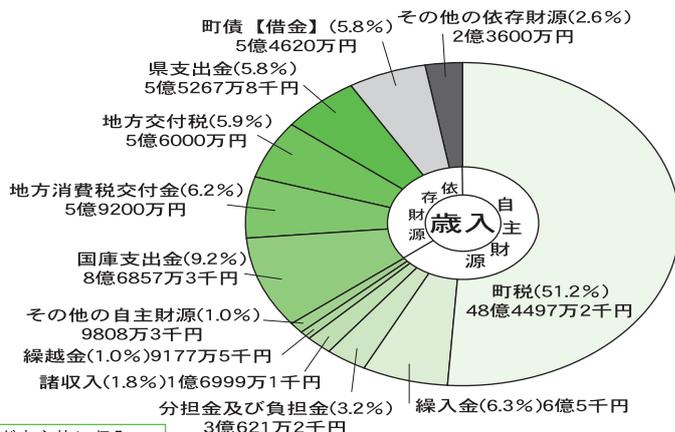
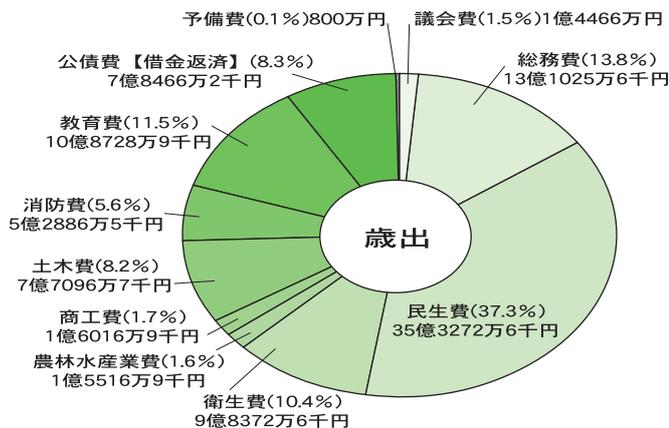
会計別		予算額	審議結果
一般会計		94億6648万9千円	全員賛成
特別会計	国民健康保険事業	41億4000万4千円	全員賛成
	土地取得	1億8005万円	全員賛成
	介護保険管理	21億5825万9千円	全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	953万1千円	全員賛成
	公共下水道事業	12億273万7千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	7億2709万6千円	全員賛成
合計		178億8416万6千円	
水道事業		9億7679万5千円	全員賛成

27年度予算(一般会計、特別会計6件、水道事業会計)案を審議し、指摘事項や今後の行政運営への要望など活発に発言し、すべて原案のとおり可決しました。私たちが指摘・要望した事項の一部をお届けします。

27年度予算を審議

一般会計予算94億6648万9千円のなかみ

(自主財源：64.5% 依存財源：35.5%)



※各項目で四捨五入しているため合計が合わない場合があります。

自主財源とは？ 町税や分担金など自主的に収入できる財源です。
依存財源とは？ 町債や国庫支出金のように国や県に依存して調達する財源です。

「津波から逃げるには北へ逃げろ」と言われる。町を南北に貫くメイン道路は西尾張中央道だが、昨年末の大規模火災では大渋滞となった。今年度予算では道路行政が反映されていないがどう考えているのか。

横江町長 防災担当者、学識経験者の皆様方から津波は必ず来ると指摘をいただいている。ただし、地域によって到達時間等が違うため、一番危惧するのは津波よりも破堤したときの水である。この対策を重点的にやらなければならぬ。

横江町長

避難経路としての南北の道路はそんなに不足の状態ではないと考えているが、町道東郊線(ヨシツヤ東側の道路)は重要な道であるので、県道への格上げ

をお願しながら整備していきたい。

横江町長 取組みがまだ表面に表れていないことは非常に申し訳なく思う。形に表す方法で議員各位、町民の皆様にかかるとは是非していきたい。

横江町長

問 町には待機児童はなく、蟹江南保育所も約200人まで受け入れができると聞いている。それだけのキャパシティがあるとするならば、民間施設の利便はどのように考えているのか。



▲昨年末の火災で通行止めとなった西尾張中央道

その傍ら、国が認定子ども園を推奨しており、各幼稚園もそろそろ0・1・2歳児の受け入れに手を挙げる動きが見られるので、保護者の選択肢を増やす意味でも、民間の事業者の協力を得ながらやっていきたい。

鈴木民生部次長 保育士ひとりに対する0歳児は相変わらず1対3となっている。定員いっぱいでもやるとどうしても人件費等が増大するので、任期付保育士等を活用し、保育所の定員をフルに活用したい。

鈴木民生部次長

問 火葬場についてはいろいろ問題があり、町としても心配の種がある。きちんとした場所を提供することが我々の使命だと思っている。名古屋港区茶屋の火葬場だけでなく、他の市町でも貸していたところがある。現状はどうなっているのか。

横江町長 名古屋港区茶屋の火葬場が7月にオープンするが、名古屋市衛生局とは町担当者を含めて建設当初から話をしている。相手側都合もあるので、調整にはもう少しばらばら時間がかかると思う。斎苑協議会にも話をさせていたが、名古屋市や周辺の火葬場の共用を含めて調整させていただいている。

横江町長 名古屋港区茶屋の火葬場が7月にオープンするが、名古屋市衛生局とは町担当者を含めて建設当初から話をしている。相手側都合もあるので、調整にはもう少しばらばら時間がかかると思う。斎苑協議会にも話をさせていたが、名古屋市や周辺の火葬場の共用を含めて調整させていただいている。

横江町長

斎苑協議会にも話をさせていたが、名古屋市や周辺の火葬場の共用を含めて調整させていただいている。

条例制定等を審議

「蟹江町希望の丘広場」オープン

(全員賛成)

25年度に愛知県から取得した県立蟹江高等学校の跡地が、この3月をもって工事が終了し、「蟹江町希望の丘広場」として、4月から供用開始することになりました。

善太川と隣接する位置に、晴天時には鈴鹿・養老山系が一望でき、水害発生時には約500人が一時避難できるスペースとしての機能を備えた海拔3・5メートル(地表4・5メートル)の丘が形成されています。

建物として唯一残した4階建ての旧南校舎は、高校の面影を残しながら、無料の休憩室や有料の会議室、マルチスペース、シャワー付更衣室などを備えた管理棟に生まれ変わりました。また、緊急避難施設としても活用できるように、



▲だんらんの場として利用いただける管理棟1階のフリースペース

4階に防災備蓄倉庫と屋上への屋外階段が整備されています。

芝生広場は養生中のため、7月から開放となりますが、バーベキユースペースが設置されており、今後は多くの方でにぎわうものと思います。

「新教育委員会制度」スタート

(全員賛成)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、4月から教育委員会の制度が大きく変わります。

教育委員長と教育長が一本化され、現委員の任期満了までに新教育長を町長が直接任命することになります。また、総合教育会議を設置することで、町長が公の場で教育政策の議論をすることが可能となります。この会議において町長と教育委員会が協議・調整を図り、教育の目標や施策の根本的な方針となる「大綱」を定めることになりました。



▲「蟹江町希望の丘広場」に整備されたバーベキユースペースと丘(奥の建物が管理棟)

介護保険料を改正

所得段階と介護保険料が変更

(全員賛成)

第6期介護保険事業計画策定により、所得段階が11段階となり、年間保険料が表のとおりとなりました。なお、改正後の保険料は27年度分から適用となります。

改正後の介護保険料	
所得段階	年間保険料
第1段階	30,600円
第2段階	42,840円
第3段階	45,900円
第4段階	52,020円
第5段階	61,200円
第6段階	73,440円
第7段階	76,500円
第8段階	88,740円
第9段階	100,980円
第10段階	107,100円
第11段階	116,280円

改正前の介護保険料	
所得段階	年間保険料
第1段階	28,500円
第2段階	28,500円
第3段階	39,900円
第4段階	42,750円
第5段階	48,450円
第6段階	57,000円
第7段階	68,400円
第8段階	79,800円
第9段階	88,350円
第10段階	99,750円

国へ提出した意見書

- ◆ 「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」構築への取り組みを求める意見書
- ◆ 子ども・子育て支援新制度に関する予算の確保・増額を求める意見書

※意見書の取り扱い

町議会では、全会派一致で採択されたものが提出されることになっています。

26年度補正予算を審議				
会計別	補正額	補正後の額	審議結果	
一般会計(第6号)	4億2296万1千円	100億6720万9千円	全員賛成	
一般会計(第7号)	▲1288万5千円	100億5432万4千円	全員賛成	
特別会計	国民健康保険事業	▲2763万4千円	37億887万3千円	全員賛成
	土地取得	988万6千円	1億8991万3千円	全員賛成
	介護保険管理	2628万5千円	20億6271万3千円	全員賛成
	コミュニティ・プラント事業	額の増減は無く、 項目内容を変更	975万9千円	全員賛成
	公共下水道事業	▲1億8662万7千円	11億8760万7千円	全員賛成
	後期高齢者医療保険事業	▲1549万4千円	7億2775万8千円	全員賛成

▲は減額という意味です

平成27年度 施政方針

施政方針の主な内容

第1章「心身ともに健やかに支えあって暮らせるまちづくり」

- 0歳から2歳までの乳児保育の充実を図るため、民間事業者の協力を得ながら、旧蟹江児童館の有効的な活用方法を検討していきます。また、新蟹江小学校の余裕教室を活用し、町内の小学校高学年の児童を対象とする学童保育を、夏休み期間において試行して参ります。
- 施設や設備の著しい老朽化に伴い利用を休止しております老人福祉センター分館を取り壊し、その跡地利用や新施設の建設を見据えた基本調査を実施します。

第2章「次代につなぐ教育と生涯学習のまちづくり」

- 平成25年度から小中学校の校舎等における窓ガラスの飛散防止フィルムの施工に着手してきましたが、蟹江中学校を施工することで全校への取り組みを完了して参ります。
- 町主催行事や団体活動の拠点施設となっている蟹江中央公民館分館の屋外防水及び外壁改修並びにトイレ改修工事を施工し、施設の維持管理に努めて参ります。

第3章「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」

- 平成26年度から積極的に登用しております女性消防団員を活用して消防団活動消防団活動の広報・啓発に努め、地域における消防・防災活動の担い手となる消防団員を確保して参ります。
- 町内の各避難所への経路を示す避難路誘導案内表示と、避難所の入り口における看板用の照明を2箇年計画で設置します。施設の入り口には地震発生時に自動で開く鍵ボックスを設置することで、避難所への入場を確保します。

第4章「誰もが元気に楽しく住みつけたくなるまちづくり」

- JR蟹江駅の橋上駅舎化及び南北自由通路の新設についてJR東海との基本合意に至りましたので、都市計画変更の手続きを進めて参ります。
- 近鉄蟹江駅周辺整備事業への取組みとしまして、駅周辺整備に向けた基本計画の策定を進める一環として、整備に必要となる用地や支障物件等の調査を行い、その結果を踏まえて、近畿日本鉄道を始めとした関係機関との協議を進めて参ります。

第5章「町民・行政の協働と効率的な行政運営によるまちづくり」

- 名古屋市が主催する研究会や市町村長懇談会等に今後も参加することで、近隣市町村とのつながりを築き、町外での出展機会を捉えて、積極的に蟹江町をPRして参ります。
- まち、ひと、しごと創生事業としましては、国の関係交付金事業と平行して、町内における水源を活用したビオトープの設置に向けて、必要な調査を実施していきます。

少子高齢化のそなえを万全に



大胆な展開をしていきたい。

問 高齢化対策には健康な高齢者を増やすためにも新福祉センターを建設し、医療費の増額も抑えるようにしたらどうか。

温泉を利用した町独自の施策を考えていきたい。

横江町長

町には温泉がある。民間の温泉施設を利用したことはできないか、

温泉を利用したりハビリテーション病院とのコラボレーションはできないか、これから考えていきたい。

急性期医療と回復、リハビリ期との兼ね合いを考えながら包括ケアシステムを構築していく必要がある。民間とのコラボレーションも当然行っていく考えであり、要支援から要介護にならないような町独自の施策を考えていきたい。

問 防災では地震時に自動解錠する鍵箱が学校などの避難所に本年度設置されるが何月頃になるのか。

問 町の人件費を下げるためには人件費で数えられる正職員276人、臨時職員約150人の適切な構成比をどう考えるのか。

職員を適材適所に配置するなど、バランスをとりながら雇用していきたい。

横江町長

職種に応じて急に臨時職を増やすこともあるので一概には言えないが、一般職も臨時職員数もしっかり精査し、再任用計画とのバランスをとりながら雇用をしていきたい。

職員を適材適所に配置し、構成も考えていきたい。

横江町長
本年4月から、子ども・子育て支援法が施行される。認定子ども園や小規模の保育施設などが民間で認可され、町がサポートする時代に入ってきた。早朝、延長保育も含めて、民間にも協力いただき、特に駅に近い地域で考えていきたい。若い方が魅力を感じるような



▲健康な高齢者を増やすためにも温泉だけでなく誰もが利用できる新福祉センターの建設を望む

横江町長
避難所があっても避難所に入る鍵がなかったらどうするのだということがある。自動解錠する鍵箱設置は27年度予算でご提示させていただいたので、ぜひともご協力いただきたい。

広域避難計画、広域避難所の新設、お互いの助け合いというのは当然必要であり、要援護者の施策もしっかり

少子高齢化対策を進めよ



問 27年4月から子ども・子育て支援新制度が始まり、学童保育が求められている。「放課後子ども教室」と「学童保育」の一体的連携を図れ。

できるところからスタートしたい。

横江町長

今年度はできるところからスタートし、放課後子どもクラブと称して、新蟹江小学校の一部の部屋をお借りして夏季限定ではあるがスタートしていきたい。それに呼応するがごとく、学校からランドセルを背負ってそのまま行けるようなところも

順次増やしていきたいと思っており、舟入ふれあいプラザ、学戸ふれあいプラザで実施する考えを持っている。

問 介護保険法の改正に伴い、介護予防・日常生活支援など、新たな総合事業創設と実施に向けた介護保険事業計画の取り組みの周知と対応を示せ。

高齢者などが必要としている新たな事業を進めていきたい。

横江町長

介護や生活支援を必要としている高齢者は着実に増えている。特に要支援1・2で実施している訪問介護などの部分が新しい介護予防や日常生活の支援総合事業に移行される流れがあるため、新たな総合事業にのっとり前に進めていきたい。



▲放課後子ども教室実施も望まれる児童館がある学戸ふれあいプラザ

備し、子どもたちに安心・安全な環境を作っていきたい。

問 本町でも地方版総合戦略（地方の地域活性化への取り組み）の策定に取り組むが、その中で人口減少と女性や若者が活躍できる協働のまちづくりに取り組め。

若者にも住んでいたけるような魅力ある町にしていきたい。

横江町長

人口減少と女性や若者が活躍できる協働のまちづくり、これはまさに基本理念である。特に人口減少を食い止めるためには、若者にも住んでいただけるような、魅力あるまちづくりが不可欠である。商工会や各種団体と相談しながら取り組んでいきたい。

トイレ改修やエアコン設置など順次整備し、安心・安全な環境にしていきたい。

横江町長

和式から洋式の文化

問 本町の学校トイレの和式から洋式化と温暖化による真夏の教室の暑さ対策としてエアコンの設置が求められている。今後の教育環境整備事業の推進を横江町長へ伺う。

に移行し、生活環境が変わっており、トイレ改修も早急に進めていかなければいけないが、水周りは大変お金がかかる。災害対策も含めひとつずつ進めていきたい。もうひとつ重要な課題として異常気象がここ数年顕著になってきた。新しくつくった小学校は空調設備がついており、既存の学校も中学校は整備が終わったが、小学校は整備できていない。順次整

小中学校の教育レベルを上げよ



問 町に移住する条件

のひとつに、「教育レベルの高さを求める人が多い」と聞く。教育委員長が廃止され、町長の権限が大きくなると聞いているが、町の教育レベルの向上に向け、どのような施策を考えているのか。

「新教育委員会制度」スタートを好機として教育の向上に努めていきたい。

横江町長

教育長が教育委員長を兼ね、町長も総合会議の中でしっかりと意見を述べるといいう「新教育委員会制度」がスタートする。これを好機として、いろいろな

問題に対処していきたい。

今まで以上に教育委員会や先生方に対しても意見を述べられる場が増えることを期待し、学力の向上などにより一層努力していきたい。

問 J R蟹江駅の南北

自由通路と橋上駅の建設が具体化された。そこで①事業費が多額である。後々、他の施策に支障はきたさないか。②投資金額に見合う事業だとの考え方と、その投資効果は。③対立軸に近鉄蟹江駅がある。近鉄蟹江駅の整備も考えているのか。

J R蟹江駅には30億円近くかかるが、他の事業に支障をきたさない計画を立てたい。

横江町長

①30億円近いお金を投入して整備をしていく。議員各位に意見を聞き



▲移住する条件のひとつに教育レベルの高さを求める人は多い（舟入小学校5年生の授業風景）

ながら、後々に支障をきたすことのないよう、計画を立てていきたい。②投資金額に見合う事業であるか、検証しながらやるのが当然のことである。駅北区画整理事業でできた新しい市街地、都市計画によって新たにできる南側の駅前広場など、近隣の発展に寄与すると確信している。

③町の顔である近鉄蟹江駅の整備も不可欠である。橋上駅にするかどうかはもう少し後の協議になると思うが、

橋上駅を見据えた考え、方の中で今できる施策をしていかなければならない。近鉄と調整を図りながら、駅前広場の整備、都市計画の変更、南側の開発も含め、検討していきたい。

問 今や人口減少問題

は大変深刻である。ひとつの対策として「若者の結婚相談支援」が重要視されている。国の交付対象事業にも入っているが、どんな施策を考えていくつもりか。

婚活事業を商工会を始め、各種団体のご協力のもと進めたい。

横江町長

国の交付対象事業の中には婚活事業、若者移住のための地元PRなどがある。行政だけでなく商工会を始め、各種団体のご協力を得ながら政策を進めていきたい。

商工会が開催している地域活性化イベント「かにコン」からカップルが一組誕生して町に住んでいた、ただのことになった。商工会青年部の皆様にも感謝を申し上げ、これからもどんどん輪を広げられるよう、継続事業として力を注いでいきたい。

子育て世代・高齢者支援 「未来ある蟹江」 決断と実行を



横江町長
①子ども・子育て支援法が施行されることにより、民間の保育事業参加が始まる。そうい

新しい福祉センターは町民誰もが利用できる施設を考えていきたい。

27年度の町政運営は、「町の明るい未来につながる政策立案と施策の実行に取り組み」と町長が表明された。
問 ①子育て支援について、保育時間の延長や学童保育などへの考えは。②町民総合福祉センターの建設計画と早期着工の決断は。③火葬場の現状認識と今後の方向を問う。



▲築30年以上も経っている老朽化した現在の総合福祉センター（佐屋川東地区）

うことを踏まえながら進めていきたい。学童保育も夏季限定ではあるが、新蟹江小学校の一部教室を借りてスタートしたい。また、舟入と学戸のふれあいプラザで放課後子ども教室を考えている。

問 まちづくりについて、①近鉄蟹江駅前と南側の整備計画は。また、JR蟹江駅橋上化と周辺整備計画とあわせて町道東郊線の拡幅、陸橋化の具体的な方針と実行計画の決意を示せ。②問題の空き家対

が来ている。愛西市の斎苑と名古屋市港区茶屋の斎場の利用をお願いするなど、検討に入っている。ニーズを把握し、今後の運営などを考えていきたい。

横江町長 財政規模を大きくしたからといって仕事が大きくできることはないが、もう少し大胆に予算を組めるような収入ができるよう邁進していきたい。行政サービスの向上を目指して国や県に対し、これからもいろいろな申し出をしていく。

策は。③広域連携と交流、市町村合併、特に名古屋市への合併の考えを伺いたい。

問 財政問題と地方創生について、税収の見通しと国、県の財源確保の自信は。

常任委員会の審査

総務 民生

希望の丘広場設置及び管理に関する条例の制定 (全員賛成)

問 1階フリースペース、2階シャワー室、3階マルチスペースは誰がどう使うことを想定しているのか。またバーベキューの利用時間はどうなるのか。

伊藤生涯学習課長

1階のフリースペースは誰でも休憩していただける場、2階のシャワー室は、グラウン



▲ダンス、ヨガの利用を見込む3階マルチスペース

ドを利用して愛知大学の学生やバーベキューをされた方に使っていただければと考えている。3階のマルチスペースは、床が板張り正面に大きな姿見と手すりがあるので、ダンスやヨガなどで利用していただける。また、会議室としても利用できるよう、机や椅子もある。

川合教育部次長
教育長と教育委員長が一本化されるだけで、人数に変更はなく、教育長と教育委員4人、計5人となる。

問 教育委員の人数は変更されるのか。

問 町内会、子ども会等が利用する場合に、減免措置はあるのか。

伊藤生涯学習課長
体育館や公民館の減免規則に沿ったかたちで考えている。

問 バーベキューを利用する方の年齢は、どのように考えているのか。

18年度の給与改正により、給与の原資を給

与と地域手当にわけ、国家公務員の給与を全国一律とし、地域の民間企業との格差を地域手当として振り分けるようになった。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (全員賛成)

問 地域手当の引き上げはどのように行うのか。

加藤総務部長
27年度に4%、28年度に5%、29年度に6%と、段階的に引き上げる。

職員の給与に関する条例の一部改正 (全員賛成)

問 地域手当はどういうものか、また単身赴任手当はどういう場合に支給されるのか。

江上総務部次長
基本的には国の施策であるので、6%で決まっている。

介護保険条例の一部改正 (全員賛成)

問 被保険者や負担額などのシミュレーションはされているのか。

橋本高齢介護課長
厚生労働省のワークシートを用いて、27年度から29年度までの数値を見込んでいます。

防災建設

自転車等の放置の防止に関する条例及び都市公園条例の一部改正 (全員賛成)

問 今後、自転車駐車場の整備はどのように変わっていくのか。また自転車の盗難や被害などが起きていることは、町当局に話があるのか。

伊藤土木農政課長
JR蟹江駅西側自転車駐車が300台収



▲JR蟹江駅南側自転車駐車場に設置された防犯カメラ

容のところ、現在246台、82%の利用、北側自転車駐車場が500台のところ、現在177台、35・4%の利用、南側自転車駐車場が600台収容のところ、現在512台、85・3%の利用となっている。まだ余裕があるため、新たに建設することは今のところ考えていない。

盗難などの被害については、聞いていない。防犯カメラを26年度に南側自転車駐車場に8台設置し、27年度には北側と西側自転車駐車場にそれぞれ設置する予定である。